



山口大学医学部附属病院 改革プラン2040

2024年6月

大学病院改革プランとは

2024 年3月に文部科学省において「大学病院改革ガイドライン」が策定され、全国の大学病院においても「大学病院改革プラン」を策定することになりました。

「大学病院改革プラン」は、自院の役割・機能について、おかれている実情等を踏まえた分析に基づいて再確認を行い、医師の働き方改革に伴う医師の労働時間の適正化の推進と大学病院における教育・研究・診療という役割・機能の維持を両立すること等を目的にしています。

山口大学医学部附属病院は、本学の「明日の山口大学ビジョン 2030」も踏まえつつ、地域医療確保暫定特例水準が解消された後の 2040 年を見据えた内容となるよう、病院長のリーダーシップの下、大学病院改革ガイドラインが示す4つの視点（運営改革、教育研究改革、診療改革、財務経営改革）ごとに副院長等を中心とするプロジェクトチームを立ち上げ、本院の現状・強み・課題を整理し、改革プランを策定しました。

本院の理念・基本方針

本院の理念・基本方針は、2023 年4月に医師の働き方改革を見据えた新たな病院風土の醸成を目指して、病院長のリーダーシップの下 「患者さんへの使命」「職員への使命」「学生への使命」「社会への使命」「将来への使命」の5つのテーマを掲げて刷新しました。

策定にあたっては、副院長・病院長補佐・関係事務によるWGを設置して提案を行い、病院職員全体へのパブリックコメントによって病院職員全員が参画し「理念1項目、基本方針5項目」を決定しました。

新たに加えた「職員への使命」の視点には、病院長の『働きがいのある病院風土を醸成する』というメッセージが込められています。これからも、働きたくなる職場環境を目指して取り組みを進めていきます。

【理 念】 一人ひとりの健康と安心の探求と実現

【基本方針】

- ・患者さんに寄り添い、安全で良質な医療を提供する
- ・個性や価値観を尊重し、安心して能力を発揮できる職場環境を創る
- ・豊かな人間性を持ち、多様な場で活躍できる医療人を育成する
- ・世界に誇れる先端医療を探求しつづける
- ・持続可能な地域医療の実現に貢献する

本院の役割・機能の再確認

山口県唯一の医学部附属病院として、県内医療の中核となって教育・研究・診療に邁進し、人材育成・研究開発・医師派遣や高度医療等の実施により地域を支えてきました。

地域医療における県内救急医療の最後の砦として、ドクターヘリ、ドクターカー、新生児ドクターカーを運用し、県内の約 150 の医療機関への医師派遣をはじめとして、多職種が県内の医療機関と教育や診療面で密接に連携しています。

また、国立大学では初となる2回目の再開発整備事業を展開し、将来に向けて、安心・安全な療養環境、働きやすい職場環境の充実強化を推進しています。

（医療機関としての主な指定）

特定機能病院、災害拠点病院、難病診療連携拠点病院、高度救命救急センター、
都道府県がん診療連携拠点病院、エイズ治療中核拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、
山口県 DMAT 指定病院、総合周産期母子医療センター指定病院、原子力災害拠点病院、
都道府県アレルギー疾患医療拠点病院



一方で、社会情勢も大きく変化する中で、以下のような課題に取り組んでいく必要があります。

- ・ コロナ禍による教育・研究・診療の縮小や停滞、診療縮小に伴う経営的な影響
- ・ 医療の複雑化による診療業務の拡大と研究コア時間の不足、働き方改革の実現
- ・ 県内の人口減少および高齢化による医療需要の変化と、地域医療を支える医療従事者の不足

「本院の理念・基本方針」を軸として、本院の強みや特色、課題を整理し、4つの役割・機能について再確認を行い、「**改革プランに係る基本方針**」をとりまとめました。

改革プランに係る基本方針

1 医学部の教育・研究に必要な附属施設としての役割・機能

- ・ 地域の医療機関と大学病院が役割分担した臨床教育の推進
- ・ 診療参加型臨床実習を推進する指導体制の充実
- ・ 大学と地域の医療機関とのアライアンスによる多職種連携教育の推進

2 専門性の高い高度な医療人を養成する研修機関としての役割・機能

- ・ 専門性を軸に身体を一つのシステムとして考える力を持つ人材を育成する体制・環境の更なる充実
- ・ 全医療従事者の医療技術の習得及び向上の更なる支援

3 医学研究の中核としての役割・機能

- ・ 研究コア時間の増加
- ・ 研究従事者・研究支援人材の増加

4 医療計画及び地域医療構想等と整合した医療機関としての役割・機能

- ・ 県全体のバランスを踏まえた地域医療体制の拡充と高度医療の機能再編
- ・ 安心・安全な地域医療体制を担う医療従事者の確保と適正配置
- ・ 働き方改革に対応した職場環境の改善

「改革プランに係る基本方針」に沿って、**4つの視点**
（運営改革、教育研究改革、診療改革、財務経営改革）で
主な取り組みを取りまとめました。

病院長 松永 和人



運営改革

誰もが働きやすい& 働き続けたい山大病院を目指します

人材確保につながる処遇改善に取り組みます

- ・病院職員の処遇改善として、賃金改善、手当の新設、給与体系の見直しなどを検討し、実現に向けて取り組みます
- ・専門・認定資格や技術により病院機能の強化などに貢献している職員に対する手当の新設を検討します
- ・メディカルスタッフのキャリアパス、評価制度、給与体系等の見直しを検討し、魅力ある人事制度を構築します
- ・看護助手に対する適切な人事評価に基づいた常勤（フルタイム）への切替えを検討します

子育て世代職員を支援します

- ・ニーズを踏まえて、育児短時間勤務制度の対象職種の拡大や、医師（診療助教）の柔軟な勤務時間帯などの制度の拡充を検討します
- ・学童施設からの送迎と院内での短時間預かりサービスの導入に向けて具体的に検討します

安心して能力を発揮できる職場の文化を作ります

- ・サービス向上推進委員会を中心に「サンクスカード」による日常のコミュニケーションを活性化し、「ほめる文化づくり」と「話しやすい雰囲気づくり」を実現します
- ・パブリックコメントの利用などにより全病院職員の意見を運営に反映します

「診療科等連携部門（バーチャルセンター）」の活動を加速します

- ・大学病院ならではの専門性を刻々と変わる医療ニーズに対応させ、各部門が連携したチーム医療を提供します
- ※2024年9月時点の診療科等連携部門（バーチャルセンター）
生殖医療センター、血管内治療（IVR）・放射線診断治療センター、こども医療センター、低侵襲手術センター、IBDセンター（炎症性腸疾患センター）、高齢者がん治療センター、臨床心理センター、脳卒中・心臓病等総合支援センター

県内医療の将来像を検討します

- ・県内で不足している分野（総合診療、腎臓内科、透析、リハビリ、膠原病内科など）の強化に取り組みます
- ・診療科や病棟の機能を再検討し、働きやすく、患者さんにも分かりやすい病院の在り方目指します
- ・行政や医師会等とも連携し、将来の地域医療を支えるための診療機能の分化や共有化を提案します



「山大病院でキャリアアップできる！」 将来ビジョンを提供します

充実した臨床実習で未来の医療人を育成します

- ・実習等を補助するティーチングアシスタント（TA）等の活用を進め、医師が効率的・効果的に教育や指導に専念できる環境を整備します
（2024 年度 高度医療人材養成拠点形成事業（高度な臨床・研究能力を有する医師養成促進支援））
- ・学生が助手や介助者として最先端医療機器の活用方法を経験する等、診療参加型臨床実習を実質化します（2023 年度 高度医療人材養成事業（医師養成課程充実のための教育環境整備））
- ・「臨床教授」等の称号付与制度を活用し、学外臨床実習教育施設において豊富な臨床経験を有する指導者や医療機関との教育連携を強化します
- ・診療参加型臨床実習のローテートを医療現場に即した体制に見直します

地域を支える研修医、専攻医、指導医を育成します

- ・医療人育成センターに多職種の専任職員の配置を検討し、研修医、専攻医のサポート体制と研修環境を充実させます
- ・県内全体で卒前から卒後まで一貫した総合診療教育体制を整備します
- ・山口県内での研究や臨床を希望する自治医科大学卒業医師や県外医師等の受入体制を構築します

看護師の特定行為研修を充実します

- ・地域のニーズをふまえた区分別研修の追加を検討し、既存パッケージと組み合わせた独自研修を提供します
（既存の領域別パッケージ）
救急領域、 外科術後病棟管理領域、 術中麻酔管理領域

社会的な課題に対応できる看護師を養成します

- ・看護実践教育センターが、教育機関（山口県教育庁）、山口県看護協会、医療機関と協力体制を構築し、医療的ケア児の支援を牽引する看護師や重症医療現場での中核を担う看護師を養成します

病院全体での効率的な教育・研修システムを提供します

- ・医療人育成センターに医療・ケア研修支援部門を新設し、全ての医療従事者の教育・研修を支援します
- ・山口東京理科大学をはじめとした大学のアライアンスによる多職種連携教育を推進し、実践能力を有する医療人を養成します

研究コア時間の増加に取り組めます

- ・研究者にとって負担となっていた手続き等をリサーチクラークにタスク・シフトし、持続的な研究支援体制を構築します
（2024 年度 高度医療人材養成拠点形成事業（高度な臨床・研究能力を有する医師養成促進支援））

研究者の増加に取り組めます

- ・学部生の早い段階から「自己開発コース」に取り組み、研究マインドを育みます
（2024 年度 高度医療人材養成拠点形成事業（高度な臨床・研究能力を有する医師養成促進支援））
- ・自己開発コース学生を業務を補助するスチューデントアシスタント（SA）、大学院生を研究を補助するリサーチアシスタント（RA）に雇用し、研究者（教員）を源流とする屋根瓦式で研究の独自性や魅力を伝えていきます

診療改革

『働き方改革』で持続可能な 県内医療をリードします

県全体の地域医療提供体制を検討します

- ・将来の地域人口、高齢化率、病床利用率等と本院の医師派遣能力のデータに基づいて、安心・安全な地域医療体制を維持していくための検討をすすめます
- 「山口大学医学部附属病院における地域医療提供体制に関する基本方針」（2023 年）
- ・行政や医師会、地域基幹病院や地域医療機関との連携を強化します

メディカルスタッフ職員に係る連携を強化します

- ・人材が不足しているメディカルスタッフの育成に努め、医療機関との人材交流等により地域医療を支えます
- ・県立総合医療センターとの協定に基づき、院内研修に参加枠を設けて県内の医療人材のスキルアップを図ります

多職種連携によるタスク・シフト/シェアを促進します

- ・医療現場のニーズに基づき、安全かつ効率的に医療を提供できる体制の構築を目指します
- ・救急救命士の採用などの新たな職種の新設に関しても検討します
- ・医師事務作業補助者のスキルアップのため院内教育・研修体制の充実と組織管理体制を強化します

専門資格の取得を支援します

- ・特定行為研修修了者の配属部署では、医師と看護師の十分な対話によってチーム医療を推進します
- ・看護部採用計画に「長期研修代替職員採用枠」を設け、長期研修による資格を取得しやすい環境を整えます

ICT や医療 DX を活用します

- ・電子カルテ入力作業や看護記録業務を効率化するシステムを導入し、負担を軽減します
- ・独自あるいは既存のデジタル技術を統合した医療支援システムを医療現場に導入します
- ・院内の各種研修会に e ラーニングを活用し、勤務シフトに配慮します

勤務時間を有効に活用します

- ・県内病院と事務部門の情報連携の推進に関する協定を締結し、共通利用が可能な書式等を検討します
- ・委員会等開催標準手順書に基づき、WEB 会議、勤務時間内開催及び開催時間 30 分以内等を徹底します
- ・委員会の統廃合や組織の縮小を行い、教育・研究・診療のための時間の確保に努めます



経営基盤を未来につなぐ再開発整備が完成します

病院再開発整備を着実に実施します

- ・2025年度の完了にむけて、既設建物の改修整備、外来診療棟及び第2中央診療棟の改修計画を遂行します

データに基づく経営で収入増加に取り組みます

- ・病床マネジメントWG、手術室有効活用WGでは、実情に即して柔軟な見直しと効果的な運用を行います
- ・診療科の特性に合わせたデータに基づいて、機能評価係数Ⅱのうち効率化係数と複雑化係数の改善を実施します

保険診療外収入の獲得を進めます

- ・ワクチン接種、PET-CTを核とした大学病院ならではの高度な疾患の予防と早期発見（健康診断）を拡充します
- ・先進医療等に係る初期導入費用（機器購入や研修）を支援する制度を構築します

寄附金・外部資金収入の拡充を目指します

- ・クラウドファンディングやネーミングライツの積極的な活用により寄附金収入の拡充を図ります
- ・外部資金獲得の呼び水とするため、外部資金に係る間接経費の一部を研究者のインセンティブとすることを検討します

医療機器を計画的に整備します

- ・中央診療施設による医療機器一元管理の対象範囲を拡大し、医療安全の確保と保有台数の適正化を図ります
- ・機器本体だけでなく、消耗品費用や保守点検費用を含めたライフサイクルコストを評価した調達を行います
- ・機器の長寿命化を図るため、一元管理による適切な保守・点検、取り扱い講習会を積極的に開催します

医薬品費、診療材料費等に係る支出の削減に努めます

- ・病院長及び薬剤部長のリーダーシップにより、後発医薬品（バイオシミラー医薬品を含む）への切替えを継続的に実施します
- ・常備医薬品の採用時における「一増一減」を徹底し、適正な在庫管理を行います
- ・処方医薬品を「第一推奨薬」、「第二推奨薬」として標準化した院内の投与指針（フォーミュラリ）の策定を検討します
- ・診療材料の価格交渉に病院長や診療科医師が同席し、効果的な価格交渉を促進します
- ・他大学や県内医療機関等とアライアンスを強化し、医薬品、診療材料の共同購買を行います
- ・高騰する診療材料費の削減を図るため、国立大学病院長会議が実施する共同調達品への切替えを推進します



「山口大学医学部附属病院改革プラン2040」は
病院HPに掲載しています

<http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/about/plan2040.html>